福岡県 認知症対応型共同生活介護事業所　　　　評価確定日 令和2年2月3日

（別紙4（2））

事業所名 グループホーム ドレミ

目標達成計画書

作 成 日: 令和 2 年 2 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	人柄の良い職員が多いが、経験や介護技術にばらつきが見られ、同じ介護の提供をしても利用者が戸惑う場面が多いので、職員一人ひとりの介護技術の向上に取り組んで行く。	職員の経験や習熟度に合わせ外部研修を交代で受講する機会を設け、職員は利用者と家族とのコミュニケーションを取りながら、何でも話し合える環境を作り、家族の悩みにも応えられる職員を育てていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議参加メンバーが少ないので、地域の有識者、知見者に参加を要請し、参加委員から参加して良かったと思われる運営推進会議を目指す。	薬剤師、市民センター館長、交番の警察官、保育所・幼稚園の園長、元家族や他のグループホームの管理者に参加を要請し、ホームの繁栄だけでなく参加者にとっても知識や情報を得る機会と捉え、地域の問題にも踏み込み、地域貢献にも取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。